

(新製品プレスリリース)

株式会社吉徳

アメリカン・コミックス『バットマン』をモチーフにした甲冑 2 点

「蝙蝠侠 鎧飾り」「蝙蝠侠 武者人形」発売

節句人形を中心に人形全般の製造・卸・販売の総合企業、株式会社吉徳(本社:東京都台東区浅草橋、創業:1711年、資本金:1億円、代表取締役社長:山田徳兵衛、www.yoshitoku.co.jp/)は、ワーナー・ブラザーズ コンシューマープロダクツとのパートナーシップのもと、アメリカン・コミックス『バットマン』をモチーフにした甲冑 2 点「蝙蝠侠(こうもりきょう)鎧飾り」「蝙蝠侠(こうもりきょう)武者人形」を発売いたします。発売にあたっては当社ホームページのオンラインショップにて、2019年3月1日より先行予約の受付を開始します。商品のお渡しは5月末より順次予定しています。



吉徳「蝙蝠侠(こうもりきょう)鎧飾り」



吉徳「蝙蝠侠(こうもりきょう)武者人形」

BATMAN and all related characters and elements © & ™ DC Comics. (s19)

“日本の戦国時代にバットマンが存在していたら”をコンセプトに企画・制作され、バットマンの和名ともいえる「蝙蝠侠(こうもりきょう)」の名を冠した吉徳デザインの「蝙蝠侠(こうもりきょう)鎧飾り」(座位型セット)と「蝙蝠侠(こうもりきょう)武者人形」(立ち姿型セット)は、2体ともお馴染みの黒マントをまとい、顔を覆う仮面、コウモリのような耳、胸には金色のバットエンブレムなど、悪を制圧する文字通りのスーパーヒーローにふさわしい存在感ある武者人形に仕上げられています。

基本デザインは、特撮ヒーローなどのフィギュア原型を多数手がける造形作家・竹谷隆之（たけやたかゆき：1963 年生まれ）氏です。竹谷氏は、あえて五月人形という「型」からどこかはみ出したような造形作法で進めたほうがバットマンというキャラクターらしい存在感が出るという考え方から、一般的な五月人形ではあまり採用されない当世具足（戦国時代以後流行した鎧の一形式）の形式を採用しています。実際に当時こうした甲冑が存在していたのではという実在感を可能な限り目指しています。

◆吉徳 蝙蝠侠(こうもりきょう)鎧飾り 発売価格 ¥300,000（税別）

サイズ(mm):高さ730×間口600×奥行480

人形素材:樹脂、アンチモニ、縮緬、合皮、アルミ、化繊

台屏風素材: 木材、銀箔

◆吉徳 蝙蝠侠(こうもりきょう)武者人形 発売価格 ¥300,000（税別）

サイズ(mm):高さ約620×間口約400×奥行約300

人形素材: 樹脂、アンチモニ、縮緬、合皮、アルミ、化繊、木材

■ワーナー・ブラザーズ コンシューマープロダクツとは

ワーナー・ブラザーズ コンシューマープロダクツは、ワーナー ブラザーズ ジャパン合同会社(本社:東京都港区)に属し、ルーニー・テューンズをはじめ、トムとジェリー、バットマン、スーパーマン、ハリー・ポッター等の、多数のワーナー映画や人気アニメーションに関わる商品化、企業向けの宣伝ライセンス、テーマパーク、ステージショー等のライブエンターテインメントのライセンスビジネスを展開しています。

■DC エンターテインメントとは

DC(“スーパーマン”、“バットマン”、“グリーン・ランタン”、“ワンダー・ウーマン”、“フラッシュ”他)、Vertigo“Sandman”、“Fables”)、MAD などの有名レーベルを展開した会社で、ワーナー・ブラザーズ・エンターテインメントとタイム・ワーナー各部門で戦略的にコンテンツを展開するクリエイティブ部門。同社はワーナー・ブラザーズの多くの主要部門と協力してそのコンテンツを、映画、テレビ、コンシューマープロダクツ、ホーム・エンターテインメント、インタラクティブ・ゲームなど、幅広くメディア展開する。毎年数千にもおよぶコミック本、グラフィック・ノベル、雑誌を世に出し、英語圏のコミック出版社としては世界最大の規模を誇っています。

以上